

木質材料及び木質構造の これからのを考える若手の会

参加条件：若手の人に限る

(目安は、年齢 40 歳未満または研究歴 10 年未満)

開催趣旨：

近年、木質構造研究は益々盛んになり、若手研究者の数も大きく増加し、様々な研究が行われている。一方で、木質構造における研究や開発は細分化されたために、それぞれの連携が希薄になり、木質構造にとって重要なテーマであるにも拘わらずなかなか研究が進展しないものもある。そこで、木質構造研究と関連する分野を対象に4つのテーマを選定し、それぞれを専門にしている若手研究者・技術者に二人一組で講演してもらい、現状を理解すると共に、今後分野拡大を図るために必要と考えられる基礎や応用、今後の研究における連携等について検討する。



プログラム

- 13:00 ~ 13:05 開会挨拶：梅村研二（京大大学生存圏研究所）
- 13:05 ~ 13:50 構造研究と材料研究は相互に何を求めるのか？
田中 圭（大分大学工学部）
足立幸司（東京大学アジア生物資源環境研究センター）
- 13:50 ~ 14:35 材料強度、接合強度と生物劣化は定量的評価が可能か？
森 拓郎（京大大学生存圏研究所）
築瀬佳之（京都大学農学部）
- 14:35 ~ 14:50 <休 憩>
- 14:50 ~ 15:35 国産材を住宅に使うためにクリアすべき問題点とは？
久保山裕史（森林総合研究所林業経営・政策研究領域）
照井清貴（株ポラス暮し科学研究所）
- 15:35 ~ 16:15 木質材料・構造研究の現状と実務的問題点
青木謙治（森林総合研究所構造利用研究領域）
矢永国良（中国木材株）
- 16:15 ~ 16:55 総合討論（進行：森 拓郎，田中 圭）
- 16:55 ~ 17:00 閉会挨拶：青木謙治
-
- 17:15 ~ 19:00 <懇親会> 於 木質エコ住宅
会費：2,000 円（講演者と学生は無料）

●見学会

10月16日（火）10:00 ~ 東本願寺改修工事現場

日時：2007年10月15日（月）13:00~17:00

場所：京大大学生存圏研究所 総合研究実験棟5階 HW525

